

皆さんから寄せられた「声」は、2019年度の

安全・安心への取り組み

- 東都生協の基本である安全・安心な食と、その食の未来を守るということをこれからも大切にしていってほしい。と、ともにビーガンやグルテンフリーなど、食に対する意識も大きく変わりつつあります。そこにも、アンテナを張って取り組んでほしいです。(町田市/60代)
- これからも安全・安心な食材を届けていただきたいです。食材は国産が好きです。日本の農家を守り続けましょう。(杉並区/50代)
- すでに東都生協はなくてはならない存在になっているのですが、毎回注文するものは大体決まっています。より多くの商品を利用するには商品のことや産地、生産者のことをもっと知る必要があると思います。(八王子市/60代)
- 安全・安心な商品に満足できた1年でした。(練馬区/60代)
- パンや惣菜の添加物を明記してほしいです。(世田谷区/40代)
- 安全・安心な食料が手に入るのがいちばん大切なこと。今年もよろしく。(新宿区/70代)



東都生協の商品検査室では、取扱商品の微生物検査、残留農薬検査、残留放射能検査などの検査を行っています。また、餌の遺伝子組換え検査、動物用医薬品検査などを外部検査機関に委託しています。食料の自由化は、安全・安心のリスクを高めることにもつながりますので、引き続き産直・国産にこだわり商品提供をしていきます。

産地とのつながり

- 組合員の意見を聞くことは大切ですが、より生産者側の意見を大切にしてほしいです。それができるのが東都生協だと思います。(台東区/50代)
- 「食と農」の取り組みを進めます、という内容に賛同します。今後一層、産地・メーカー訪問など取引先との取り組みを進めていただきたいです。(板橋区/40代)
- 生産者の方の声をもっと聞かせてほしいです。こんなことに力を入れている、消費者である組合員にはこうしてほしいなど…。形が悪くても、大きさが揃ってなくても…。良いことも悪いことも両方の情報を出してほしいです。(町田市/50代)
- いつも青果をおいしくいただいています。生産者の方々の、きちんとした取り組みに安心感があります。ですので、「おいしさ太鼓判」の返金システムには、違和感があります。これは生産者の方々に失礼ではないでしょうか。(渋谷区/80代)



「おいしさ太鼓判企画」は、旬のおいしい時季の青果物を一人でも多くの組合員に利用していただきたいという気持ちで、産地・生産者と一緒に旬の青果物を選んでいきます。実は、東都生協の商品を利用している組合員の約4割が野菜を利用していません。より多くの組合員に産地直結の取り組みを知って、利用いただくために、旬の青果物を試して、その後の継続利用につなげていければと考えています。返金を前提としていませんが、産地にも責任を持って出荷してもらうことも含めた産地直結ならではの企画としています。



仲間づくり

- 試食会などを通じて実際に食べたり、友人を誘ってみたりして、きっかけ作りができれば良いと思います。(三鷹市/40代)

- 東都生協加入のきっかけになったのは、35年前、食の安全(添加物の知識)からでした。話を聞く機会が、試食会などをしながらでもあると良いと思います。(三鷹市/70代)
- 「食の未来づくり運動」はとても良い取り組みだと思います。仲間が増えることを期待します。(文京区/40代)



東都生協を知ってもらうために、実際に見て・食べて・学ぶ機会をもっと増やしていきます。組合員同士のつながりで東都生協に加入した方は商品への愛着があり長く利用されますので、「仲間づくり」のきっかけ作りをこれからもよろしくお願いします。みんなでもっと良い食とくらしを目指しましょう。

食の未来づくり運動

- これからも安定して、安全・安心な食を提供していただけることを期待しています。また、生産者との交流や、生産支援の取り組みの活性化にも期待、応援しています。みんなでもっと東都生協の魅力を広げられたら良いと思います。(杉並区/30代)
- 安全・安心な食、日本の生産者を守る活動を今後も続けてほしいです。(杉並区/50代)



安全・安心な食を守るための「食の未来づくり運動」には、日本の農業が元気であることが欠かせません。これからも生産者と直に交流する「交流・訪問2万人運動」を進めることで、農業の現状を多くの組合員の皆さんに知ってもらい、何が出来るかを組合員のみなさんと共に考えていきます。

情報提供

- 「MOGMOG」を読んでいます。かなり時間がかかりますが、勉強になります。商品代金が未納の組合員がいるとの記事には大変驚きました!(所沢市/60代)
- 今後も安全・安心を第一に生産者やメーカーさんと寄り添いながら良い商品を家庭の食卓のため、日本の未来のためよろしく願います。ためになる良い企画は組合員活動情報紙「フォ」や「MOGMOG」、ホームページなどで報告を発信してくれるとありがたいです。(日野市/40代)



年間9号発行の機関誌「MOGMOG」や毎週お届けの商品案内「さんぼんすぎ」には多くの情報を載せています。商品案内も雑貨の冊子も「何時間もかかって目を通して」との声も多くいただくように、東都生協の思いや政策がたくさん語られているものです。欲しいものが探しやすい紙面づくりや読みやすさをさらに追求し、充実した情報誌になるよう努めます。

食育活動

- 八千代牛乳の体験ツアーから生産者の思いを知ることができ、子どもが牛乳を飲むようになりました。(三鷹市/40代)
- 環境、平和、食料自給などについて、これからも実体験を祖父母→親→孫へと伝える企画を増やしてほしいです。(豊島区/60代)



八千代牛乳の体験ツアーに参加したお子さんが牛乳を飲むようになったとのこと。生産現場を見て生産者から直接思いを聞く体験は、子どもにもおとなにも大事な食育です。次世代につなげる食の大切さを考える交流や学習の機会を今後も作ります。

活動への参加

- 「地域版フォ」などで、さまざまな企画の案内があり、参加することで知識も増え、大変役立ちました。添加物の学習会では、個別の質問にも丁寧に答えていただき、添加物の怖さも体感しました。(品川区/40代)
- 2歳の娘と毎日、日中は二人で遊び、会うのは子連れのママ友ばかり。組合員活動でさまざまな方とお会いできるのが今すごく楽しみです。(品川区/30代)
- ブロック活動のことをまだあまり理解できていませんが、東都生協が地域を大事に組合員の輪を広げていこうとする点は充分に感じます。(世田谷区/50代)
- 商品案内やコールセンターなどはとても分かりやすく丁寧に説明していると思います。組合員の活動が利用しやすいような地域のつながりである様に、もっと親近感を持てるので、これからも「食と農」の取り組みを応援したいです。(三鷹市/40代)
- ブロック委員会で皆さんとにぎやかに企画などの話し合いをするのは、とても楽しいです。(小平市/50代)



東都生協の組合員活動は商品の試食会や学習会から、「環境」「福祉」「平和」「くらし」「食と農」に関することなどさまざまあり、参加しやすい曜日や時間帯を検討していきます。また、自宅でもできる活動として「生産者カード」の返信や「ひとこえ生協」に声を出すことなどがあります。「地域版フォ」、ブロックニュース、ホームページ、「MOGMOG」には企画の報告を掲載し、参加できなかった組合員にも情報が伝わるようにしています。

組合員を増やす活動

- 組合員を増やすためには、どのように宣伝して利用人数を増やしていくのでしょうか。以前は郵便局の前で販売と加入を勧めている様子を見ましたが最近は見かけなくなっています。(町田市/80代)



昔も今も東都生協への加入理由で一番多いのは「子どもに安全・安心な物を食べさせたい」です。そのため「子育てイベント」や「食」に関するイベントに積極的に参加し、東都生協のアピールを行っています。東都生協は店舗はありませんので、認知度を上げるために郵便局や貸店舗での生協案内なども有効な手段として多く行っています。

利用の再開

- 4週注文しないとOCR注文書が届かなくなってしまうのですが、あらかじめ仕事などで注文が難しい時期はお休みし、その期間が終わったらまた再開できると、資源も無駄にならず、良いと思います。(足立区/60代)



2018年10月から連続4週利用がないと注文書の配付が止まるルールに変更になりましたが、利用再開希望者には配付できるよう配達担当が常に予備の注文書を車両に持っています。注文の再開について連絡いただければすぐにお届けさせていただきます。また注文の長期お休みの場合もご連絡いただけると助かります。